



広島経済大学 キャリアアップ・プログラム通信(第 250 号)

2019 年 12 月 12 日 配信



◆広島経済大学 社会人対象講座キャリアアップ・プログラム◆

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

◇広島経済大学 カルチャー講座◇

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/culture/index.html>

◇キャリアアップ・プログラム講師のルレーコラム◇

「情けは人の為ならず」

広島経済大学 経営学科 助教
3 学期「人材マネジメントの基礎」講師
宮辻 渉

情けは人の為ならず。私の好きな諺です。大まかな意味は、人への親切はいつか自分に返ってくる、というものです。

さて、唐突に個人的な話で恐縮です。冬のとある寒い日、私は頭を抱えながら英語の原稿を書いていました。すると、「あれ？この文脈やと a かな、いや the でいいんかな？」と冠詞に迷ってしまいました。外はもう暗かったことを記憶しています。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥。お礼にと、ポケットに甘いお菓子を忍ばせて、英語がご専門の X 先生の研究室にむかいました。事情を話すと X 先生は快く対応してくださいました。

作業に戻り、「ふう、やれやれ。神は細部に宿るなあ」と額に手を当てていると、なんと X 先生が私の研究室にお越しくださいました。そして、「先程の文章なのですが、…うん、この部分が形容詞、名詞ではなくて、名詞、名詞になっていますよ。あっ、それとここは…」とチェックしてくださいました。ミスが細部どころの話ではなく、私にはお礼の言葉しかありませんでした。それと同時に、「あっ！これは組織市民行動(Organizational Citizenship Behavior)だ！」と思いました。

組織市民行動とは、大まかにいうと、自身の仕事や役割を超えて困っている人を助ける自発的な行動を指します。端的には利他的行動です。そうした行動は一回限りですと、財務諸表に何の影響も与えません。しかし、それが繰り返されれば組織に良い影響を与えることが分かってきました(もちろん学術的な反論もありますが、それについては稿を改めたいと思います)。実は、理論的提唱者のデニス・オーガン先生によれば、組織市民行動は日本的経営の影響を受けているとされています。アメリカでは、職務の境界が明確である一方で、日本のそれは曖昧です。それゆえ、互酬性のある助け合いの行動が生起します。つまり、日本では昔

から組織市民行動が日常的に行われていたことが示唆されます。

ここで、「情けは人の為ならず」に戻りましょう。諺になるくらいですから、おそらく先人たちは昔からこうした考え方を有していたと推察できます。つまり、日本では昔から情けは人の為ならずの組織市民行動が日常茶飯だったということです。しかしながら、昔と比して、組織はマンパワー不足になり、メンバーは疲弊しています。メンタルヘルス不調者も少なくありません。無茶な目標設定により、偽装や隠ぺいも発生しています。働き方改革のもとで効率的な仕事の遂行も求められています。こうした状況で、情けは人の為ならずを実践することは必ずしも容易ではありません。ただし、経営学にはそれを実践する理論的枠組みがあります。

自分が所属する組織の組織市民行動を増やすためにはどうすればいいのか、と思う方もいらっしゃるかもしれません。それは機会が合えば、「人材マネジメントの基礎」の「組織市民行動」にてお話できれば幸いです。それと、私が X 先生にした組織市民行動についても。

>>次号は、3 学期「現代中小企業経営論の基礎」の講師 瀬戸 正則先生が担当されます。

◆今週の一冊◆

宮辻先生おすすめの書籍です。



『あらしのよるに』 きむらゆういち・あべ弘士著 講談社

利他の本です。嵐の夜に、狼のガブと羊のメイは友達になります。しかし、群れの仲間はそのを許しません。彼らは二人きりで逃げ出します。仲間を追われ、道中の過酷な雪山で二人は息も絶え絶えです。もう何日も何も食べていません。メイはガブにこう言います。餌を食べて生きてください。ガブはこんな雪山に餌なんてないと言います。メイは笑顔でこう言います。餌ならあなたの目の前にあるじゃないですか。彼は究極の利他である自己犠牲を提案します。ガブはその利他を受け入れるのでしょうか。

もともとは絵本ですが、いろいろと考えさせられる本です。挿絵が入っており、漢字も少ないので、お子様がいらっしゃいましたら一緒に読まれてはいかがでしょうか。

◇2019 年度 3 学期 開講講座のご案内◇

■「[マーケティング演習](#)」

講師：経営学部 経営学科 教授 細井謙一

マーケティングのポイントである「考え方」を「会得」することを目標に、グループワークを通じて実際にマーケティングプランを立案しましょう。

★1 月 20 日(月)開始(毎週月曜日全 6 回)

■「[広告デザイン基礎](#)」

講師:メディアビジネス学部 メディアビジネス学科 准教授 宮地英和

伝えるためのデザインに必要な発想法やテクニックについて学び、演習では実際に広告デザイン制作を体験していただきます。

★1月20日(月)開始(毎週月曜日全6回)

■「[経済学の基本](#)」

講師:経済学部 経済学科 教授 新垣繁秀

経済学の基本的な内容を展開します。「経済学は選択の学問」と言われます。それを踏まえながら様々な経済問題を考えていきます。

★1月14日(火)開始(毎週火曜日全6回)

■「[中級 法人税](#)」

講師:経済学部 経済学科 教授 一橋信之

日々の仕事や経営に役立つ法人税を知りたい、と思っている人のためのワンランクアップの講座です。標準的な法人税の申告書や一般的な節税方法を学びます。

★1月14日(火)開始(毎週火曜日全6回)

■「[人材マネジメントの基礎](#)」

講師:経営学部 経営学科 助教 宮辻 渉

経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報)のなかでもヒトは他の経営資源とは異なる性質を持っています。本講座では、ヒトのマネジメントの理論に関する理解と実践での活用を目指します。

★1月15日(水)開始(毎週水曜日全6回)

■「[実践的広告戦略立案の応用](#)」

講師:メディアビジネス学部 メディアビジネス学科 教授 北野尚人

広告やプロモーションに関するセンスは人生を豊かにしてくれるかもしれないと思う人を対象に、演習を中心にした授業で広告の応用の仕方について学んでいきます。

★1月15日(水)開始(毎週水曜日全6回)

■「[現代中小企業経営論の基礎](#)」

講師:経営学部 経営学科 教授 瀬戸正則

中堅・中小企業経営に関する基本理論、経営理念、ビジョンの利活用をベースとした、人と組織の活用化方を学びます。

★1月16日(木)開始(毎週木曜日全6回)

■「[実践 英語プレゼンテーション](#)」

講師:教養教育部 講師 森谷浩士

受講者各自が自身の興味に合わせてプレゼンテーションを計画し、その内容を英語で発表します。初級程度の英語力(またはそれ以上)をお持ちの方を対象にしています。

★1月16日(木)開始(毎週木曜日全6回)

■「[すぐに使える行動経済学](#)」(新規科目)

講師:経済学部 経済学科 准教授 山根智沙子

2017年のノーベル経済学賞で注目されはじめた行動経済学は、身近で役立つ学問です。知っているかわからないかで、いかに差が出るかを様々な事例からご紹介します。

★1月17日(金)開始(毎週金曜日全6回)

■「[財務会計の基礎](#)」(新規科目)

講師:経営学部 経営学科 助教 角 裕太

企業が作成・公開する財務諸表(貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書等)の仕組みとその読み方(分析手法)について学びます。

★1月17日(金)開始(毎週金曜日全6回)

■「[コーポレート・ファイナンス応用](#)」

講師:経済学部 経済学科 教授 重本洋一

企業の資金調達や投資活動について戦略的な意思決定を行っていくにはどうしたら良いのかについてコーポレート・ファイナンス理論を踏まえつつ実例を用いて易しく解説していきます。

★1月10日、1月17日、1月24日、2月21日、2月28日、3月6日(すべて金曜日)

カルチャー講座

■「〈日本の歴史と文学〉名言・名場面の舞台裏【戦国編】～明智光秀と本能寺の変を中心に～」

都合により、不開講となりました。

◎事務局から◎

2019年度、キャリアアップ・プログラム 3学期受講の申し込み受付中です！

詳細については、以下URLをご確認ください。

《キャリアアップ・プログラム》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

《カルチャー講座》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/culture/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで career-up@hue.ac.jp

※配信解除はこちらから行ってください。

<https://y.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=0828719345&task=cancel>

※広島経済大学 オフィシャルサイト <http://www.hue.ac.jp/>

発信元: 広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局 (082-871-9345)